

継続事業評価シート

評価実施日 令和4年3月31日

令和3年度(5年目)

事業コード	8	事業名	海外展開支援事業			戦略コード	1	戦略名	育て・挑戦を支える商工会		
担当部名	事業振興部		担当課名	経営支援課	担当課長名	佐藤大輔		施策コード	4	施策名	地域外に活路を見出す販路拡大支援の充実

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

人口減少や少子高齢化による地域市場の縮小に対応するためには、商談会や物産展等への効果的な出展支援等により、国内外を問わず広く活路を見出していくことが求められている。

2. 事業のねらい

秋田県やJETRO、秋田県貿易促進協会との連携による支援メニューのパッケージ化、県・市町村や金融機関との連携による商談会、見本市等への出展支援など他の支援機関との連携による支援策を展開する。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	－	H30	C	R1	B	R2	C
-----	-----	---	-----	---	----	---	----	---

コロナ禍で展示会や商談会といった事業が大幅に制限され、当初の計画がほとんど実行できなかった。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

コロナ禍により海外展開の実施が難しい中において、秋田県やJETRO、秋田県貿易促進協会との連携を強化し、商談会やインターネット販売など、参加可能な事業を検討する。

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
16	外部との連携による支援策の展開	秋田県やJETRO、秋田県貿易促進協会と海外進出企業等についての情報交換を行った。	a	b	a	B
17	外部との連携による海外展開支援	コロナ禍のため支援を行うことができなかった。	a	c	c	C

評価指標と実績

達成度： a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	17					取組コード						取組コード					
指標名	外部との連携による海外展開支援					指標名						指標名					
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標	10件	10件	10件	15件	15件	目標						目標					
実績	10件	0件	3件	0件	0件	実績						実績					
達成率	100%	0%	30%	0%	0%	達成率						達成率					
達成度	a	c	c	c	c	達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性

【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)

a

〈評価の理由〉

地域市場の縮小という問題に対し、海外展開は必要性の高い事業であるものの、コロナ禍に加え世界情勢が不安定となっていることから、事業実施の際にはしっかりと状況を見極める必要がある。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況

【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)

b

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

秋田県やJETRO、秋田県貿易促進協会と情報交換は行ったものの、新型コロナの影響により計画に沿った取組が行えず、目標達成には至らなかった。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況

【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)

b

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

秋田県やJETRO、秋田県貿易促進協会との連携により、情報収集等に係るコストや時間が大幅に削減されている。

2. 総合評価・理由

A(順調)3つの観点の評価結果が すべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合

B

コロナ禍で展示会や商談会といった事業が大幅に制限され、当初の計画がほとんど実行できなかった。

3. 課題

ポストコロナにおける海外展開をスタートさせる仕組みの構築が必要である。また、会員事業者や経営指導員の理解を深めるため、双方の知識・スキル向上を図らなければならない。

4. 今後の対応方針(改善点)

コロナ禍に加え、世界情勢が不安定となっていることから、事業実施には状況を見極める必要がある。なお、酒蔵を含めた製造業では、海外展開への動きが一部見られることから、このような企業にはニーズに応じた柔軟な支援を講じていく。